

グローバル時代の 「日本庭園」を考えるシンポジウム

令和4年3月12日(土)

於：京都大学 国際科学イノベーション棟5F
シンポジウムホール

主催：公益財団法人都市緑化機構
共催：国土交通省

グローバル時代の 「日本庭園」を考えるシンポジウム

令和4年3月12日(土)14:00~17:30

於：京都大学 国際科学イノベーション棟5F
シンポジウムホール

次 第

《開会》

- ・開会挨拶 公益財団法人都市緑化機構 専務理事 柳野良明
- ・来賓挨拶 京都市長 門川大作 氏

《基調講演》

- ・日本庭園の伝統と技法 京都芸術大学 教授 尼崎博正 氏
- ・日本庭園の特質から国土の景観多様性を考える 福井県立大学 学長/東京農業大学 名誉教授・元学長 進士五十八 氏

-休憩-

《リレートーク》海外日本庭園再生プロジェクトの成果と展望

進行：国土交通省 都市局 都市計画課 環境計画調整官 脇坂隆一 氏

- ・海外日本庭園再生プロジェクト 国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室 国際緑地環境対策官 辻野恒一 氏
- ・米国における日本庭園修復（グレンデール、クランブルック、ナッシュビル） 一般社団法人日本造園組合連合会 寺下弘 氏・今田康正 氏
- ・欧州における日本庭園修復（ブカレスト、ウェールズ、ウィーン等） 一般社団法人日本造園建設業協会 国際委員長 山田拓広 氏※
- ・ポートランド日本庭園及びNAJGAの活動 ポートランド日本庭園上席執行役員 内山貞文 氏※
- ・欧州日本庭園ネットワークの動向 欧州日本庭園・極東庭園芸術ネットワーク設立推進会 水眞洋子 氏※
- ・海外日本庭園再生プロジェクトの成果と今後の課題 東京農業大学 名誉教授 鈴木誠 氏

《総括講演》

- ・令和時代の日本庭園の可能性 東京都市大学 特別教授 涌井史郎 氏

※ オンライン参加

主催：公益財団法人都市緑化機構 共催：国土交通省

後援：京都府、京都市、（一社）日本造園建設業協会、（一社）日本造園組合連合会、（一社）日本庭園協会、（一財）日本造園修景協会、（公社）日本造園学会、日本庭園学会、文化財庭園保存技術者協議会、（公財）京都市都市緑化協会、（公財）国際花と緑の博覧会記念協会、（一社）2027年国際園芸博覧会協会

1 “創造する伝統”

「創造的であったものだけが伝統となり、その伝統が新たな創造性を刺激し続けてきた。」

夢窓・遠州・植治～独自の自然観・庭園観を提示し、日本庭園に新たな境地を切り拓く

- * “不易と流行” — 「物事の根幹をなす永遠性」(不易) と 「時々の新風の体」(流行)
 - ・ 日本庭園は「壮大な自然の輪廻」(不易) と 「創造的な人間の営み」(流行) の融合
 - ・ 本質は“感動” にあり
- * 変化自在の日本庭園

2 自然とともに (不易)

- * 風土性
- * 眺望の伝統 — 『今鏡』、『桂亭記』(金地院崇伝)
- * 四季をめぐる — 桂離宮の観月
- * 自然景と人文景 — 南禅寺界限別荘庭園群 (アカマツ林・歴史的建造物)
 - 清風荘 (大文字の送り火)
- ・ 對龍山荘十二景 (谷鐵臣、明治 34 年)

「階前湖淥」「牆裏巖瀧」「浅瀬石鶏」「中嶼螢火」「西渚藕花」「東亭秋月」
「黒谷斜陽」「比良残雪」「栗田啼鵲」「金地鳴磬」「叡岳紅霞」「龍山白雨」

3 美意識の発露 (流行)

* 茶の湯の斬新性

- ・ 石燈籠の露地への導入
- ・ 花崗岩と根府川石の魅力を発見 (飛石)・・・古田織部と小堀遠州 (『茶譜』)
- ・ 矢跡と矢穴を評価 — “プロセス展示” — 新たな素材感・・・建築の「ナグリ」仕上げ

4 時空を超えたデザインと技

* 時代性と施主の好み～桂離宮の庭石

- ・ 切石による幾何学的デザインと華やかな結晶片岩
- ・ “く” の字形の石、赤い石、不均質な石

* 精緻な技法

- ・ 桂離宮の土橋と笑意軒石段 (豊島石) の構造
- ・ 修学院離宮上茶屋浴龍池の防水壁 (ハガネ粘土)・・・花折断層の直上
- ・ 擬石と擬木の妙 (萬福寺有聲軒) (温山荘擬木土橋)

* 瓢箪から駒

- ・ 桂離宮園林堂の雨落ち・・・昭和 30 年代
- ・ 修学院離宮の大刈込・・・明治 12～14 年の京都博覧会 (富岡百鍊『修学院離宮記』)

* 廃物利用と生活デザイン

- ・ 笑意軒の腰張り (朽ちたビロードを金箔で補う)・・・八条宮七代家仁親王
- ・ 銀閣寺の向月台と銀沙灘 (池底に堆積した白川砂のコス) — 幾何学的デザインの時代
- ・ 七代目小川治兵衛 (植治) — 白石と蛇籠、重森三玲のモダン — 東福寺方丈庭園

1 “創造する伝統”



写真1 豊前市おたけ地区の豊前川に架かる石橋の断面



写真2 京都市中心部の石橋（豊前川）

京都迎賓館



城之越遺跡



島庄遺跡



酒船石遺跡



平城宮東院庭園



平等院庭園整備後



浜離宮



小石川後楽園（内庭） 石橋の固定

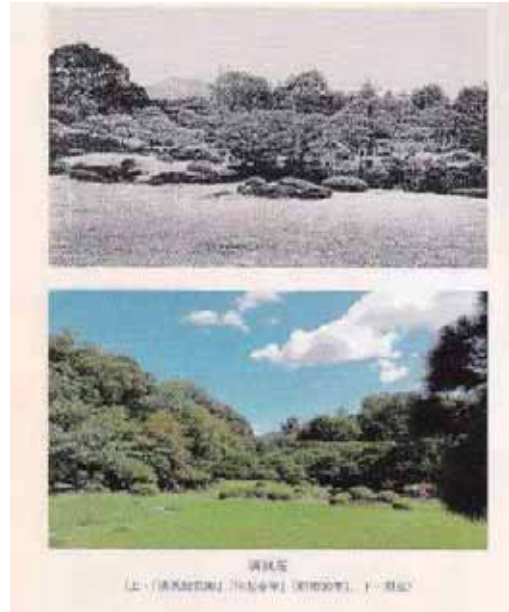


飯田十基自邸

2 自然とともに (不易)



洛外凶屏風



清風莊

3 美意識の発露（流行）

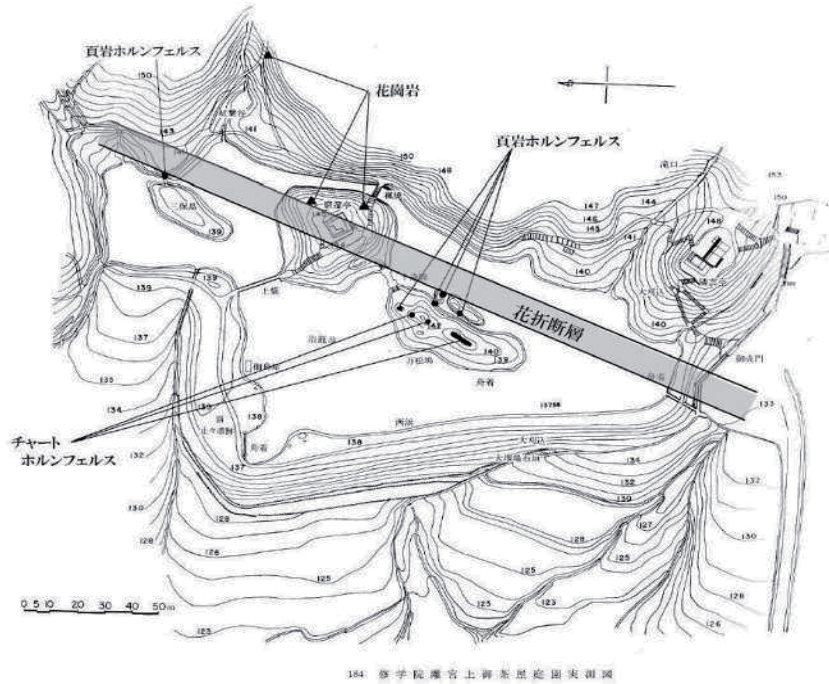


無隣庵



旧藤田男爵別邸 売立目録

4 時空を超えたデザインと技



修学院離宮
浴龍池を貫く花折断層



平安神宮“崩積”の流れ セメント使用



泉川の「擬石」橋



温山荘庭園 擬木土橋



銀閣寺



平安神宮



流響院



東福寺 方丈庭園

グローバル時代の「日本庭園」を考えるシンポジウム

日本庭園の特質から 国土の景観多様性を考える

しんじ いそや
進士 五十八

福井県立大学長／東京農業大学名誉教授・元学長
美し国づくり協会理事長

笈谷石：54年前に「地場材」⇒造園の場所性・地域色・地域性の意義発見（→景観多様性への発意）

●日本庭園の地域性・立地面での適合力の大きさ。



笈田家・米寿の庭（進士作庭体験1968. 8設計施工、
福井市若杉町笈谷石産地）



丹巖洞庭園（江戸期、福井市内足羽山麓、笈谷石の石切
場で造庭）



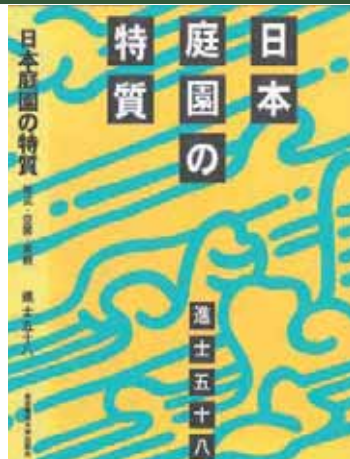
京で禅の庭否定論→福井で「禅境」を発見。
大佛寺山と永平寺川の背山臨水の地に、大本山永平寺七
堂伽藍を立地。復旧参道・永平寺川・宿坊柏樹閣3者を進
士が一体的に監修。禅境の外に禅の里めざす。

●私（進士）の日本庭園研究歴

- ・（上）福井市足羽山埋蔵地場石材・笈谷石との出会い
- ・（左）禅の庭否定論（京都）→不立文字→禅境（福井永平寺）
- ・日本庭園河原者造型論→自然観照力→自然学習性
- ・縮景・借景・樹藝・Aging美（然び）
- ・日本庭園の特質—様式・空間・景観：全体性・総合性、
（空間史+生活史）

庭園研究からランドスケープ研究へ

●進士の庭園研究は、庭園研究を基礎とし、造園（landscape design）に応用できるための研究をねらう。作者さがし、時代確定など歴史に特化することなく、社会史・生活史・空間史を含めた作庭史のダイナミズム。造園の技術、構成手法・技法、造園空間と精神面を含む景観美への原論研究をめざす！



日本式庭園の特質

縮景／空間（囲繞）	技：縮尺表現技術 こころ：理想追求精神 テーマ：理想境、憧れ／形：仏教思想、須弥山蓬莱、名所、景勝地
借景／景観	技：眺望技術 こころ：環境共生型開発（無破壊開発）精神 外界との関係：閉塞性の打破、外部との連続感／自然との関係：注連縄や鳥居などを介して主景として象徴化／見切りとコンケイブ地形で庭と外部の山や湖・寺塔を主景として生けどる／自他の関係のコントロール：相手景を生かすために園内景をコントロール
樹藝／自然	技：植物成長抑制技術 こころ：植物と人間のふれあい（植物愛）精神 環境植栽：防風・環境保全／修景植栽：モミジ・花木／造景植栽：大刈込、露地茶庭、市中の山居、高密度植栽／植栽管理：手入れの思想、剪定・整枝
然び／時間	技：時間美演出技術 こころ：変化景・歴史美尊重精神 飛石の打ち方、園路の直曲と曲率、台地と低地の変化、山の端・月の出、新緑・深緑・黄紅葉・落葉、根張り、大木・老木・巨木、苔むす、風化、然び、砂、分、時、朝夕、季、十・百・千年／回遊式、Aging/Weathered → 時間的積層性を美とみる（然びの定義・河野喜雄）

- ①「庭園」の本質と、「日本庭園」の特質。
ex. 眺望と借景
- ②技とこころ、作庭の手法・技法と心の両面を一体的に考える。ex. 物と心が交わりてそこに事を生ず（南方熊楠）
- ③歴史と様式、空間や景観／空間・景観・自然・時間をワンセットで全体的に考察。
ex. 歴史性・自然風土性・文化性・空間性・社会性・生活性・精神性……
- ④数量的・数値的分析による空間性と生活史の併用。ex. 科学的合理性での日本庭園と造園の計画設計論を体系化。

©SHINJI. 2022

日本庭園の普遍性・世界のランドスケープ史に位置づける

●世界史との庭園・ランドスケープ史の主役と展開

：Closespace/Micro CosmosからOpenlandへ

- ・ Gardening (古代・中世) 神・国王・貴族
- ・ Landscape Gardening (近世) 絶対王政国王・封建領主 貴族 (大名)
- ・ Landscape Architecture (近代) 資本家財閥・富裕市民
- ・ L. A.、Openspace、Openland (現代) 公民公共・全市民
：with コロナ (COVID-19) → Open Air

●庭園からランドスケープへ：適合性の幅を国土的スケールへ拡大（→自然の大中小、人間の関与と主たる科学的知見など）。

- ・ 小自然：（庭園）→ランドスケープ作品
：主として人文科学：審美性・精神性・緻密性
- ・ 中自然：（公園）→ランドスケープ空間
：主として社会科学：人間行動・空間と行動
- ・ 大自然：（自然）→ランドスケープ環境
：主として自然科学：生物多様性・地球の安定



●日本の自然風土、歴史文化を熟知できていない若者や外国人にもわかる『日本の庭園』図書をめざす。

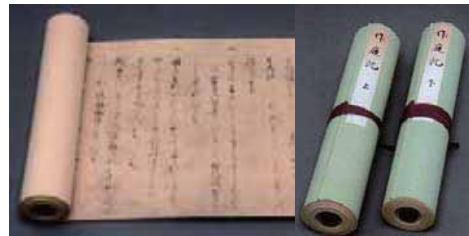
- ①日本庭園の特質は、「技とこころの両面性」にあり。
- ②日本庭園史は、発展史発達史ではなく変遷史として捉えるべき。
- ③日本庭園の社会的適合性「日本庭園のフレキシビリティ」バリエーションの豊富さ！
- ④日本の庭園はクライアントの地位・性格・要求に応じて幅広い展開で適合力第。ex. 飛石のチリで格式示唆。ex. 宴遊、権威、武芸、軍事、薬園、殖産など。
- ⑤世界の造園史は、神、国王皇帝・貴族・富裕層・市民大衆に主体が変遷し、これに応じて作品・空間から環境へ対象を拡大してゆくが、それぞれの造園の実体空間の施設設備や意匠細部は各国庭園様式の知恵と方法が模倣的創造と相互影響しあって、そのバリエーションと空間質・景観質を向上させてきた。

日本庭園の国土化と地球世界化

- J. コンドル建築作品と日本庭園への関心／鹿鳴館、清澄庭園、旧古河庭園、三菱開東閣。
- 初の日本庭園の海外紹介本、コンドル『LANDSCAPE GARDENING IN JAPAN (1893年、復刻2002)』。
- 万国博への日本庭園の出展、欧米数奇者・好事家の日本風庭園作庭、JETROなど政府系国際文化交流事業として出展。地方自治体友好都市記念事業→オリエンタリズム・ジャポニズム、異国趣味（→珍しい物段階）
- 欧米南米など日本街はじめ、世界各都市で「公開日本庭園・茶室茶庭」など普及。（→世界の都市、大学、公館、植物園の名所のひとつとしての市民権の獲得段階）
- 橘俊綱、作庭記の自然共生の技心、大名庭園の回遊式は美し国・日本の国土像につながる。

- 「グローバル時代の日本庭園」への進士五十八の考える新段階（→日本庭園がもつ思想・技術上の本質・特質がランドスケープデザイン界に転用、世界中のランドスケープデザイン、ランドスケーププランニングに具体的に应用、やがて一般化する世界化段階へ）

※LONDONのHP、NYのCPなどの緑地形態が世界中の近代都市に普及したのが近現代だが、Open spaceの多面的機能を果たしたものの、日本庭園に内包するような豊穡な自然性、季節性、精神性、繊細な審美性、手技など職人芸等々は不十分。（→そのようなNEXT Stageをめざすべく世界各国固有のランドスケープ質に、日本庭園をヒントに培われた新時代的ランドスケープ質を加えること、それが進士のLandscape diversity（景観多様性）の地球世界である。もとよりその前に「美し国・日本」により（→東海日本・環日本海、もうひとつの日本、北の国・琉球国、瀬戸内・海信濃国など多彩な道州的景観多様性で、日本を意識的に修景造景し観光立国、観光立県を実現する）



永平寺町九頭竜川眼前の浄法寺山麓の棚田に、黒龍酒造の発酵研究拠点がコンドルの孫により建設中（2022.6オープン）

©SHINJI. 2022

場所性と地域性の保全と創出

- らしさのある風景の表現（＝縮景手法）と修景（＝景観多様性の美し国づくり）。
- 「作庭記」／国々の名所を思はえて、乞はんに従う：自然の場所らしさを生かす。



- landscape designレベル
- amare→amenity→the right thing in the right place.
（然るべきものが然るべきところにあるの意）→アメニティ・デザイン（造園デザイン）。ex. 四神相応。水辺に柳、海岸に松。

風景の解剖



- Landscapeの構造を理解した上で設計修景し、造景しよう。
- 風景の解剖（←Landscapeの構造）。
 - 気候 Climate ex. 山陽、山陰、アジア的
 - 歴史 History ex. 邑、字 人文景観
 - 地理 Geography ex. 山地、平地 建築景観
 - 植生 Vegetation ex. 照葉樹林帯、武蔵野
 - 水系 Water System ex. 谷川、野川 人工河川景観
 - 地形 Topography ex. 〇〇台、〇〇丘 造成地景観
 - 地質 Geology ex. 白砂青松



- Nature Conservation + Nature Restoration
- 龍安寺庭園の生物多様性調査（田中・進士ら、動植物59科90種が生息）→日本庭園は美しいビオトープ。
- 地域生態系・地域景観の保全再生→自然再生推進法→ビオトープ・田園自然再生コンクール。



このほか「杉並百景」「足利百景」などあり。

●地球スケールでの「百景」コンテストが夢。

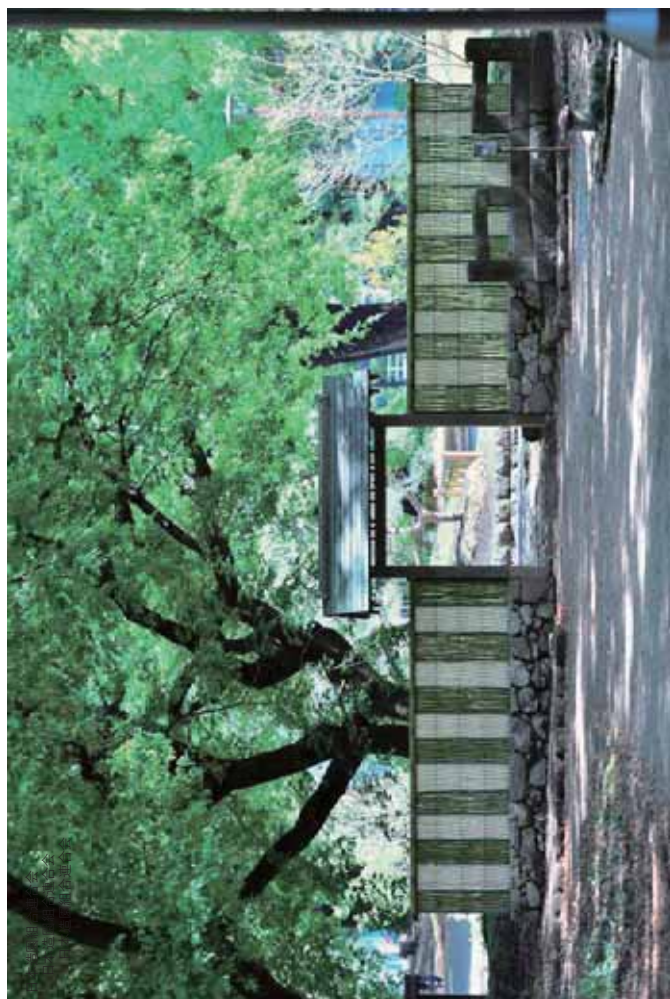
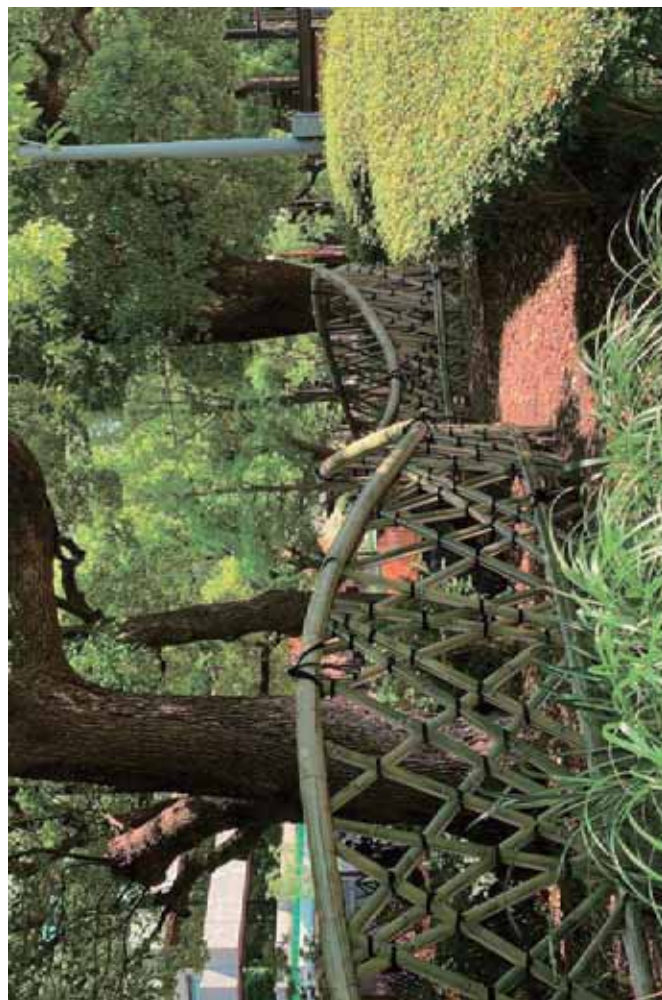
©SHINJI. 2022

「日本庭園の技術を活かした国土の風景づくり」進士メモ

- 美しく魅力的な風景づくり、という点での日本庭園の技術の重要性。
- 江戸の大名庭園の農や儒教的conceptやdesign法は、今後も庭園として十分生き残るだろう。
- 座敷からの庭園ばかりではなく、スケール感のある風景論が必要。
- 日本人の造園技術は、国内外で景観・風景形成で求められる技術。
- 細部技術で満足しないで、借景・風景的スケールで造園を考える。
- 日本庭園の特質はメタボリズム。兼六園史は造景・修景・再建・再生と何度も変遷している。
- 工業化社会で、素材と場所柄に伴う一品生産が日本庭園の意義。
- 日本庭園は京都だけではない。むしろ江戸東京や北の国、琉球国など地方の大名庭園にダイナミズムあり。
- サンフランシスコやドイツの造園にも、日本庭園細部からの影響がある。
- 日本庭園の要素を活用して、オリジナルな景観・風景をいかに創るかがこれからの課題。
- これからはモノづくりだけでなく観光が不可欠。観光振興のためには、造園技法を踏まえた地域に則した風景づくりが重要。

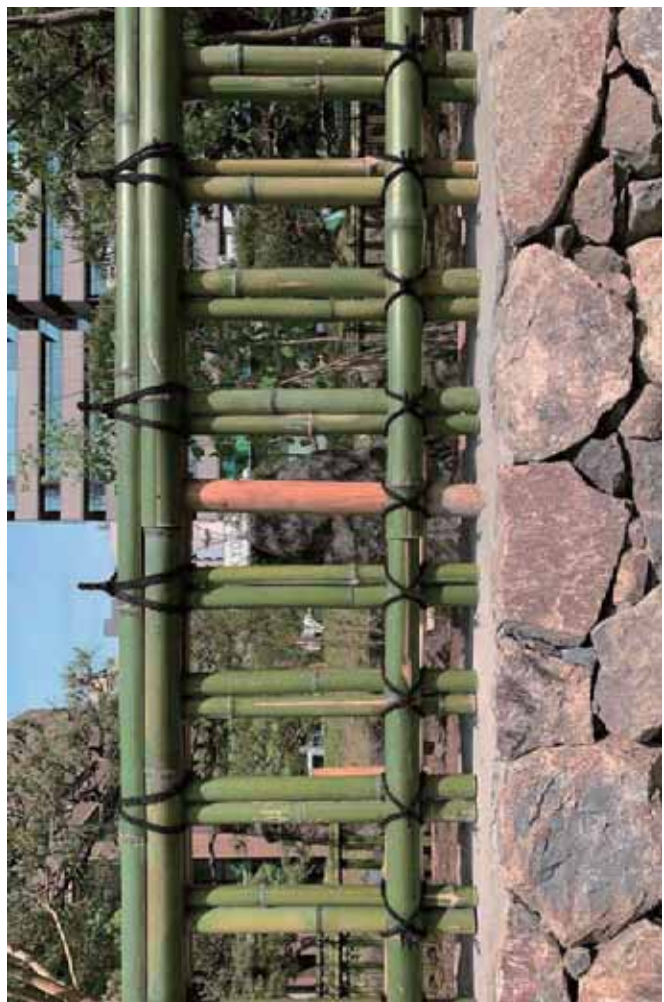
●海外日本庭園プロジェクトで留意したい点

- ①二子玉川公園・帰真園(=return to Nature)の思想。
- ②現地の風景をとり込みつつ連続性を演出。(コントラスト or 地形活用)。
- ③現地の地形、地場石材、植物、植生の活用が基本。(日本からの持ち込み材料は最小限に、知恵と発想と納まり、ディテールの仕上げは最大限努力。
- ④オリジナルデザインの灯籠もあり。ex.ポートランド日本庭園のピース・ランタン。



ディテールの納まりとバリエーション(創작성)、国交省・都市緑化機構、緑の環境プラン大賞
おもてなしの庭2021／日本造園組合連合会制作、芝公園・創作竹垣

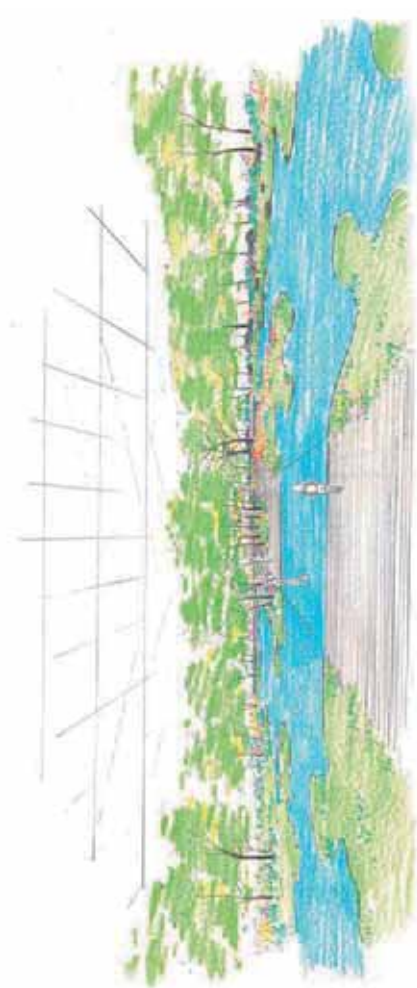




日本庭園のナチュラル作庭術と外部環境との連続性
／井上敏宏作・近江庭園



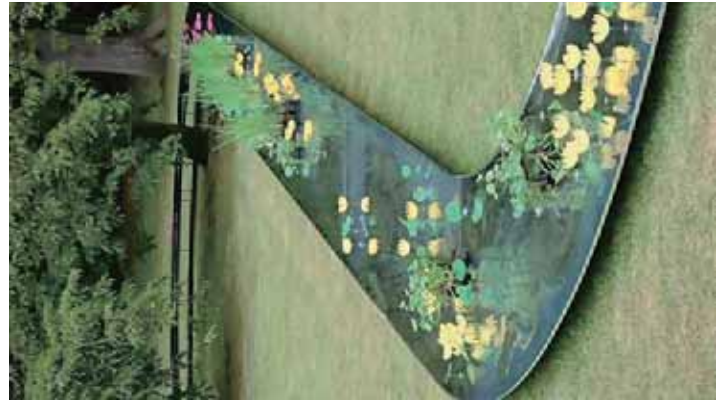




中国でのランドスケープデザイン／井上剛宏設計・(仮)北京国際会議場アトリウム(案)



東京オリパラ協賛：パビリオントウキョウ出展作
妹島和世／完成作品：水明（浜離宮庭園内に期間限定で旧延喜館址に仮設）



背景と課題

- 海外における日本庭園は、日本の魅力を分かりやすく発信する重要なコンテンツの一つとして対日理解の促進とともに、インバウンド促進に貢献。
- 海外では500箇所以上の日本庭園が存在するが、適切に維持管理がなされていないものがあり、その保全再生が大きな課題。
- 「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日決定)において、「海外日本庭園の再生プロジェクトを実施」が明記。

内容

海外における日本庭園の現状

- 海外における日本庭園は、訪問者が来日動機を持つきっかけの場にもなっている。
【日本ブランド調査2015 ((株)電通実施)】
興味関心のある日本の物事トップ10において、日本食、日本への旅行、日本の温泉に次いで、日本庭園が4位
- 海外における日本庭園は、日本の魅力を発信する場として活用され、対日理解の促進に役立っている。
【オーストリア ウィーンの例】
シェーンブルン宮殿内日本庭園で2015年9月に開催した秋祭りに1,100人の市民が訪れた
- 一方で、適切に維持管理がなされないものがある。

＜世界各地の損傷した日本庭園施設の例＞



灯笼の着色や欠損

水景施設の損傷

四阿の屋根の経年劣化

海外における日本庭園保全再生方策検討調査

日本庭園の修復に係るモデル事業の実施、外国人技術者でも庭園の維持管理を適切に行うことのできる、分かりやすい維持管理マニュアルの整備等を通じ、海外における日本庭園の修復要望に応じていくための体制の構築を図る。

修復のモデルとなる海外日本庭園を選定

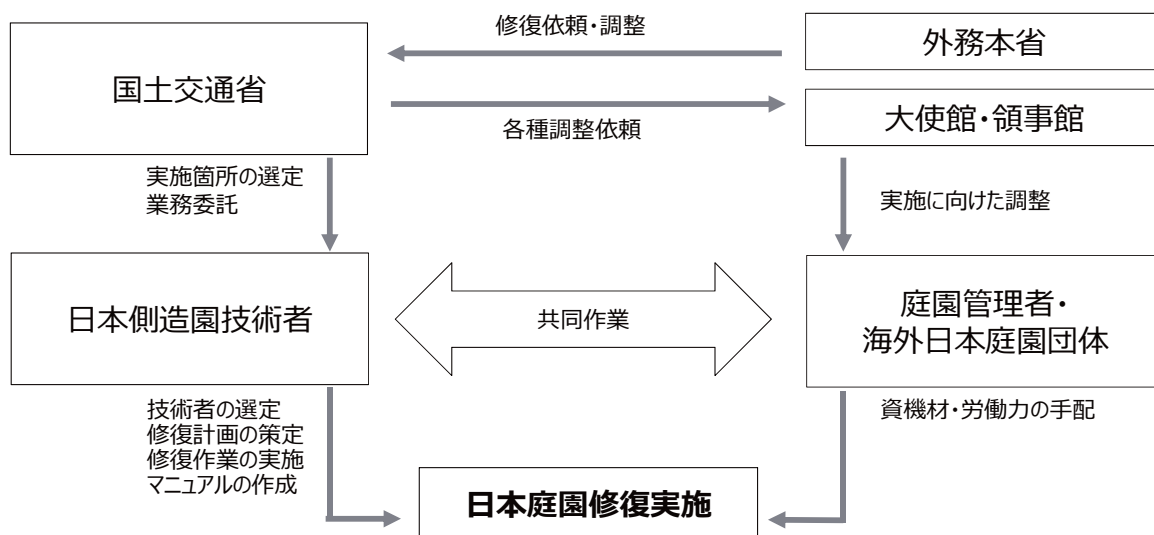


- ・修復計画の作成
- ・修復事業の実施（日本からの造園技術者の派遣等）

施策の効果

○海外における日本庭園が適切に維持管理されることにより、対日理解の促進や、インバウンド促進、さらには造園業界の海外展開が図られる。

＜実施体制＞



【平成29年度～令和2年度までの選定箇所】

- ①ヘラストラウ公園 日本庭園 (ブカレスト市)
- ②ブランド公園 日本庭園 (グレンデル市)
- ③クランブルック・ハウス・アンド・ガーデン 日本庭園 (ブルームフィールドヒルズ市)
- ④フェアマウント公園 松風荘庭園 (フィラデルフィア市)
- ⑤結心庭 日本庭園 (リバーサイド市)
- ⑥ウェールズ国立植物園 日本庭園 (ウェールズ)
- ⑦ブラハ市植物園 日本庭園 (ブラハ市)
- ⑧ジャクソンパーク フェニックス・ガーデン (シカゴ市)
- ⑨チークウッド植物園 松霧園 (ナッシュビル市)
- ⑩国際友好庭園 (スティルウォーター市)
- ⑪熊本園 (サンアントニオ市)
- ⑫国連本部 日本庭園 (ニューヨーク市)
- ⑬シェーンブルン宮殿 日本庭園 (ウィーン市)
- ⑭日本庭園 (ツイツ市)
- ⑮サン＝ミットル公園 日本庭園 (エクサンプロヴァンス市)
- ⑯デラウェア公園内日本庭園 (バツファロー市)
- ⑰ローリツェン植物園内日本庭園 (オマハ市)
- ⑱リリ・ウオカラニ公園 (ヒロ市)
- ⑲カーザ・ド・セラード 日本庭園 (ブラジリア市)
- ⑳ガットンパーク 日本庭園 (ライキット市)
- ㉑ヴロツワフ市 日本庭園 (ヴロツワフ市)
- ㉒ロシア科学アカデミー中央植物園 日本庭園 (モスクワ市)
- ㉓富山ウラジオストク友好公園 (ウラジオストク市)
- ㉔エチオピア大統領府 日本庭園 (アディス・アベバ市)

平成29年度選定箇所 : ①～②

平成30年度選定箇所 : ③～⑧※1

令和元年度選定箇所 : ⑧～⑮

令和2年度選定箇所 : ⑮～㉔※2

※1.⑧については、平成30年度と令和元年度の2か年実施

※2.コロナにより、令和3年度に修復を実施



⑫国連本部日本庭園
(ニューヨーク市)



⑥ウェールズ国立植物園日本庭園
(ウェールズ)



⑬シェーンブルン宮殿日本庭園
(ウィーン市)

米国 カリフォルニア州 グレンデル市日本庭園

修復前



修復後



ばらばらの飛び石とつくばいを、裏千家流で再整備

修復前



修復後



織部燈籠とつくばいを設置

修復後



滝の上部にもう一段滝石組みをして景と用を兼ねる





激励のスピーチの様子。ワシントンDC日本大使館へ剪定作業(当協会主催)に技術者(加藤幸一氏)派遣の壮行会にて 2004.9月

しかし、ご自身の中には遊び心もお持ちで、武勇伝とまで行きませんが、私の多くの趣味についてとても興味を示され「今度誘ってください」と社交辞令ではなく、楽しそうに話を聞いてくださっていました。冒頭の私の心残りとは、千葉市営ヨットハーバーでの三橋先生と帆走の約束を実行できなかったことです。とても申し訳なく思い悔いています。

現世では天性に恵まれ、天職に従事され、志半ばでのご逝去は悔やまれます。逝去されて四十九日の間は現世から冥土の世界に旅立つ準備の時だそうですが、既に天国で晴れ晴れと紺碧の海原をスピナーカーに風を受けセーリングを満喫されておられることと信じます。

(千葉県支部長)

三橋一夫さんを偲ぶ

ステイプ・ブルーム

(ポートランド日本庭園CEO)

内山貞文(ポートランド日本庭園
うちやまさとふみ)

チーフキュレーター)



S.ブルーム氏



内山貞文氏

三橋一夫さん、こんなにも早くお別れの言葉を申し上げる日がこうとは思ってもおりませんでした。昨年夏過ぎに入院なさったと聞いておりましたが、きつと回復され、またあの元気なお顔を拝見できるものと信じておりました。アメリカで、そしてカナダであなたの指導を受けた仲間を代表して謹んで追悼の言葉を述べさせていただきます。

改めて言えば、お力添えや教えを受けるばかりで、私たちには少しもお返しができなかったことが悔やまれます。1996(平成8)年、ポートランド日本庭園で行われた国際日本庭園カンファレンスに始まり、2012(平成24)年のNAJGA(アメリカ日本庭園協会)の設立、その後の技術援助等々、日本庭園協会の国際活動の先鋒として、

また一人の庭師、そして教育者として北米での日本庭園の啓蒙・教育の先頭に立たれ、今日まで数多い庭園の指導と人材育成を担われてきました。ポートランド日本庭園も、その25年間にわたりご指導を受けてまいりました庭園の一つです。北米その他海外の公共日本庭園に従事する人のために、ポートランド日本庭園に設けられた研修校「International Japanese Garden Training Center」の技術顧問として大変ご活躍いただきました。その手ほどきを受けたのは、2017(平成29)年の開校から10ヶ国、100人を優に超えます。その研修生の多くから、「まだまだご指導をいただきましたかった」とのメッセージを沢山お預かりします。ので、ぜひここにお受け取り下さい。

近く、2019(令和元)年には、国土交通省の海外日本庭園再生プロジェクトの一つとしてシカゴ市南部にありますジャクソンパークが選ばれ、その改修が日本庭園協会に委託されました。その改修プロジェクトの立ち上げから計画、そして設計・施工までその中心となってプロジェクトを無事完工されました。このジャクソンパーク内の日本庭園は、1893(明治26)年のコロン

ビア世界大博覧会の日本館の跡地でもあり、また、一昨年発表されたオバマ前大統領記念図書館「オバマ大統領センター」の建設予定地でもあります。日本庭園協会、そして三橋さんご自身の志と功績が、こうして、日本庭園という形で未来に受け継がれ、日本の造園技術と庭園文化が世界に伝えられていきます。どうか天上から後世の活動をお見守りください。お亡くなりになるほんの2ヶ月前には、ポートランド日本庭園の「特別顧問」の役をお引き受けいただいたばかりでした。お渡ししたばかりの「特別顧問」のお名刺が使われることがなかったのが悔やまれてなりません。

三橋一夫氏のご功績に深甚なる敬意を表し、心からご冥福をお祈りする次第です。

(特別名誉会員)(正会員)



「シカゴ・ジャクソンパーク内日本庭園修復事業」の参加メンバーと三橋氏(後列右から3人目) 2019.6.18

追悼 三橋一夫氏

三橋一夫先生に思う

いわさき たかし
岩崎 隆



コロナ禍の初夏、突然訃報が届きました。なんと千葉県支部相談役

の三橋一夫先生が5月27日、ご逝去されたとのこと。寝耳に水とは正にこのことです。その一報を聞いた時、悲しみを覚える前に、驚きと悔しさが、私の脳裏にあふれ、後悔の念で自分を責めました。実は、三橋先生とは何年も前から個人的に約束があり、それをいつ実行するか思案していました。今年の夏こそはと思っていました。コロナ禍は収まらず、世の中は外出自粛要請が発出中、仕方なく実行を先延ばししており、来年には何とかなるだろうと高を括っていた矢先の訃報でした。残念でな



故・三橋一夫さん

りません。

奥様のお話では、数年前から体調を崩され入院を繰り返しておられたようですが、千葉県支部会員には一切ご病気の話はされませんでした。支部の活動において、三橋先生は、その行動力と豊富な知識で、日頃から大きな原動力として、無くてはならない存在でした。

私が入会して日も浅い頃、千葉県の名酒「甲子正宗」の蔵元である飯沼本家のまがり家をご厚意によりお借りして開催された勉強会の折、三橋先生の茶事での羽織袴の凛々しい所作を拝見し、庭師とはこうありたいものだと感じ入りました。

その後も支部の勉強会で庭園の設計図面の書き方やパースの描き方など実践に役立つご指導もしてくださっていました。

常に、影になり日向になり支部会員のために多くの勉強会を主導してくださり、支部会員は誰もが感謝しております。

本部では、国際活動委員会を統率と普及活動のため、その学識と持ち

前のフレンドリーさを有効に活かして、国際交流を積極的に進められてこられました。国際活動に生かされた英語力は、小学生の頃にマスターされたと聞いています。

三橋先生は、29歳と若くして三橋庭園設計事務所を立ち上げられました。ご自身のお仕事でお忙しい中、執筆活動も盛んで、多くの専門書籍を編纂されました。それら庭に関する専門書は、全国の図書館に所蔵されていると思います。

社会的な活躍では、日本庭園協会理事は勿論のこと、日本庭園研究会理事、日本造園アカデミー会員など研鑽の窓口を広げられ、若手造園家育成のためにもご尽力されていました。

三橋先生の足跡は枚挙にいとまがなく辿るにはあまりに書面が足りません。

三橋先生と私のご縁は、30年程前、私が日本庭園協会に入会する頃に始まります。自己紹介を兼ね入会手続をしたときと考えておりましたら、ご自宅にお招きいただきました。その折、庭師としてのあり方や考え方など多くのことをご指導くださり、長居してしまったことを思い出します。

国際活動にも海外好きの私を誘っ



千葉県支部主催パネル展でのお点前の様子
飯沼本家のまがり家にて 2006.7月

てくださいました。2012（平成24）年8月から9月にかけてオーストラリアのシドニーで開催された「第7回国際日本庭園シンポジウム」では、濠州在住の甥を通訳として、私共々お手伝いさせていただきました。

私が当協会に入会して感じるのは、会員の皆様が真摯な情熱を持って庭づくりに邁進していること、一方、私は数十年と庭の仕事をしてきましたが、その他に数多く趣味の世界も追求している自由人だということです。

三橋先生は真摯に庭仕事一途に生きてこられ、この業界の発展に寄与された功績は顕著で特筆に値しますが、ご自身は寝る間も惜しみ日々忙しく過ごしてこられました。

